2017 年 5 月 19 日

PhillipCapital
Your Partner In Finance
フィリップ証券株式会社

サイム・ダービー（SIME）

パーム椰子果実の好調、自動車事業の業績拡大などが期待される

マレーシア|コングロマリット | 業績レビュー

Bloomberg SIME:MK | REUTERS SIME.KL

- 2017/6 期 2Q（10-12 月）は、売上高が前年同期比 4.3%増の 123.39 億 MYR、純利益は同 2.3 倍の 6.44 億 MYR と大幅な増益となった。
- セグメント別で、パームを中心とする栽培事業は好調に推移したほか、不動産開発は 2 桁の増収となった。
- 2017/6 通期の市場予想は、売上高が前期比 5.4%増の 463.39 億 MYR、純利益が同 5.3%減の 23.13 億 MYR である。

What is the news?

2017/6 期 2Q（10-12 月）は、売上高が前年同期比 4.3%増の 123.39 億 MYR、税引前利益が同 93.9%増の 9.21 億 MYR、純利益は同 2.3 倍の 6.44 億 MYR と大幅な増益となった。主にパーム油価格（CPO）の上昇が寄与し収益を押し上げた。また、パーム椰子果実（FFB）の生産が良好であった。2017/6 期 1H（7-12 月）は、売上高が前年同期比 2.0%増の 224.38 億 MYR、税引前利益が同 65.6%増の 15.50 億 MYR、純利益は同 78.5%増の 10.87 億 MYR となった。

2Q の栽培事業は、利払い・税引前利益（PBIT）が前年同期比 3.6 倍の 5.68 億 MYR となった。パーム油価格（CPO）の上昇や好調なパーム椰子果実（FFB）の生産で、特にインドネシアやパプアニューギニアが寄与した。パーム油価格（CPO）は前年同期の 2,066MYR/メトリック・トンから 2,835MYR/メトリック・トンに上昇した。また、パーム椰子果実（FFB）の生産量は同 5%増となった。工業事業は 55 百万 MYR と前年同期の 72 百万 MYR から 24%減となった。エンジンの供給が減少し、アジアのディーラーの利益が落ち込んだ。特にシンガポール、香港で顕著であった。一方、マレーシア、オーストラリアでの事業は好調であった。自動車事業は同 7%減の 1.36 億 MYR。シンガポールでの利益の落ち込みが大きく、高級車で所有資格証明書の入札の低迷した影響が出た。一方、中国は高級車や超高級車が好調で利益が拡大した。不動産事業は同 61%増の 1.37 億 MYR となった。「Battersea 発電所プロジェクト」（廃棄後の同発電所の跡地再開発）（フェーズ 1）において 2 棟の集合住宅で初の利益を計上するなど好調であった。

How do we view this?

栽培事業では、2017 年のパーム油価格（CPO）の上昇、パーム椰子果実（FFB）の好調な生産が引き続き見込まれる。オーストラリア、マレーシア、中国、シンガポールで展開する工業事業は、今後の商品市況、石炭生産動向などがポイントとなる。マレーシア、シンガポール、オーストラリア、中国、ベトナム、ニュージーランドで展開する自動車事業は、シンガポールが回復となるか、中国での高級車の好調が続くかが注目される。2017/6 通期の市場予想は、売上高が前期比 5.4%増の 463.39 億 MYR、純利益が同 5.3%減の 23.13 億 MYR である。

業績推移　※参考レート 1MYR=25.807円

事業年度	2014/6	2015/6	2016/6	2017/6F	2018/6F
売上高（百万MYR）	43,908	43,728	43,962	46,339	48,080
純利益（百万MYR）	3,352	2,430	2,442	2,313	2,561
EPS（MYR）	0.56	0.40	0.38	0.35	0.39
PER（倍）	16.74	23.28	24.50	26.60	23.87
BPS（MYR）	4.71	4.92	5.14	5.38	5.49
PBR（倍）	1.98	1.89	1.81	1.73	1.70
配当（MYR）	0.36	0.25	0.27	0.26	0.28
配当利回り（%）	3.87	2.69	2.90	2.79	3.01

（出所：会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg）

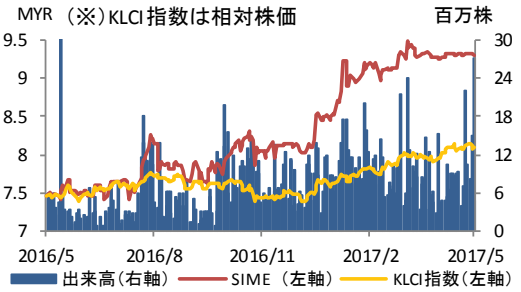
配当予想（MYR）	**0.26**	（予想はBloomberg）
終値（MYR）	**9.31**	2017/5/18

会社概要

1910年に天然ゴムの栽培から事業を開始、マレーシア最大の多角経営企業として、栽培、工業用重機、自動車販売、不動産開発、エネルギー・公共施設事業といった5ディビジョンを中心に世界25ヵ国と4地域に展開している。従業員数は12万人を超える。主力の栽培事業では、パーム油を生産し、世界最大のパーム油生産農場会社の1社となっている。また、キャタピラーの世界第3位のディーラーとして、アジア太平洋地域においては最大である。

企業データ（2017/5/18）

ベータ値	1.25
時価総額（百万MYR）	63,315
企業価値=EV（百万MYR）	78,017
3ヵ月平均売買代金（百万MYR）	85,725



（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

主要株主（2017/5）　（%）

1.Skim Amanah Saham Bumiputera	40.56
2.Employees Provident Fund Board	9.91
3.Yayasan Pelaruran Bumiputra	6.06

（出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

アナリスト
袁 鳴
ming.yuan@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707
庵原 浩樹
hiroki.ihara@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】
本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社　〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号
TEL:03-3666-2101　　URL：http://www.phillip.co.jp/
本レポートの作成者：公益社団法人　日本証券アナリスト協会検定会員　庵原浩樹
フィリップ証券　リサーチ部　アナリスト　袁　鳴

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則　平14.1.25」に基づく告知事項＞
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。